

臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名 I.A.(Interval appendectomy)の手術方法(単孔式と3Port)と術後の検討』

【研究の背景および目的】

虫垂炎はとても多い疾患で、治療方法は抗菌薬治療と手術であることが知られています。術式が、開腹手術から腹腔鏡手術に移行していることもあり、術後鎮痛剤投与も減少し、術後疼痛は減少していると考えられます。しかしながら、術後痛を含めて術後の状態についてここではなく全体としての現状の把握はまだ不十分と考えられます。

そこで、東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター外科では、手術そのものの研鑽に加えて、患者さんにとっての術後を更により良い状態とすることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、今後の虫垂炎の手術治療の改善につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2010年から2018年までの東邦大学医療センター大森病院総合診療急病センター外科において、虫垂炎の待機的な手術(Interval appendectomy: I.A.)を受けた症例(約200例)を対象とします。

診療録(カルテ)から抽出した病態とともに解析することにより、術後の痛みの状態や付随する事象を把握し、影響を与える因子を調査し疼痛を含めた術後の改善を検討します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
総合診療・急病センター 外科
職位・氏名 助教 本田善子
電話 03-3762-4151 内線 6510